

令和4年度 第1回 学校運営協議会（議事録）

I 日 時 令和4年6月4日（土） 午前10時00分から午後0時00分まで

II 場 所 静岡県立浜松湖東高等学校 小会議室

III 出席者（委員、敬称略）

山口権治（浜松市教育総合支援センター会計年度任用職員）

大堀康彦（本校同窓生）

二川雅登（本校後援会長）

新村貴文（神久呂地区自治会連合会長）

（オンライン参加）

新井立夫（文教大学教授）

欠席者

村松俊司（神久呂協働センター所長）

鈴木恵子（認定NPO法人理事長）

本校職員

白井秀幸（校長）、大場誠（副校長）、山崎修司（教頭）、諸井康恵（事務長）

V 内 容

<開会前> 本校文化祭「黎明祭」見学

1 校長挨拶

本日は、御多忙の中、本会に御参集賜り、ありがとうございます。

協議会において、教育委員会から任命された委員の皆さまが、学校運営の基本方針を承認したり、学校運営や教育活動について意見を述べたりすることとなります。本年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

協議会設置の詳細については、この後、副校長より説明します。

「学校運営協議会制度」についての一般の説明は、学校と保護者や地域住民等がともに力を出し合い、学校運営に反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みとなっておりますが、高等学校の場合通学してくる生徒の地域の定義に幅があることから、広域的な視点と学校運営の基本方針の承認ということになるかと思えます。

令和4年度のグランドデザイン、学校経営計画書につきましては、昨年度令和4年3月8日（火）の第4回同協議会として開催し、「学校自己評価」と「学校関係者評価」について詳細を説明し、課題となるC評価の部分を踏まえ、承認いただきました。

本日はよろしくお願いいたします。

2 委員自己紹介

紹介後、校長から任命状が授与された。

3 学校運営協議会について（資料3）

(1) 静岡県教育委員会規則第1号（P.1）

（副校長から説明）

(2) 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱（P.5）

（副校長から説明）

(3) 静岡県立浜松湖東高等学校における学校運営協議会の設置等に関する要項（P.8）

（副校長から説明）

4 会長・副会長の選出

会 長 新井立夫氏

副会長 山口権治氏

互選により、両名が選出された。

5 議事（進行：会長）

全委員 7人中 5人（過半数）の出席を確認。

(1) 令和3年度学校評価（資料1）

ア 学校経営報告書（自己評価）

イ 学校関係者評価実施報告書

（副校長から説明）

(2) 令和4年度ランドデザイン・学校経営計画（資料2）

ア グランドデザイン

イ 学校経営計画

（校長から説明）

中期の学校教育目標とランドデザインが学校経営計画書に集約されてしまった感もあり、カリキュラム・マネジメントに鑑みランドデザインが、学校経営計画書と重複すると感じられる方もあるかもしれません。

本校では、教科を横断するものは資質・能力としてランドデザインに明確に示し、学校経営計画書とも整合性を取っております。その上で、保護者に示すシラバスとしてランドデザイン、評価計画も入れた指導計画として学校経営計画書を位置付けております。

なお、令和3年1月の中教審答申を受けて、3月に学校教育法施行規則が一部改正されたことから、各学校が三つの方針からなる「スクール・ポリシー」を策定し、公表することが義務化されました。三つの方針とは、①アドミッション・ポリシー（どんな生徒を求めるか）、②カリキュラム・ポリシー（どんな教育課程を編成するか）、③グラデュエーション・ポリシー（卒業までにどんな力が生徒に身に付いているか）、です。

今年度は、全県立高校が「スクール・ミッション」を公開し、今後「スクール・ポリシー」の作成に関して、委員の皆様のご意見をいただきますので、御承知おきください。

令和4年度のランドデザイン、学校経営計画書につきましては、令和4年3月8日（火）の第4回協議会でご承認いただきました。読書活動の充実について、図書館の利用のみが目的になって低い数値になってしまっているとのこと指摘から、今年度の学校経営計画書では「読書に親しむ生徒を増やす」という形で反映させていただきました。

また、ランドデザイン、研修構想図のデザインについて御意見を賜り、添付資料のように修正を加えました。内容の変更はありません。

本日は、新たにご承認をいただきたいことがあります。

別添の静岡県教育委員会「教育行政の基本方針」について、ⅠとⅢについては、これまでの報告から実施しているのご理解いただけるかと思えます。Ⅱについて、グローバル人材育成の観点では、昨年度、「グローバルハイスクール」について取り組みをはじめました。外国人労働者を多く受け入れている地域として、人種や差異を超えて互いに助け合い、共生できる社会の実現を目指す必要があることから、「生徒自身が実際に様々な格差や差別で困っている人と接することにより、社会の抱える問題を理解し、自分がどのような形で実社会と関わることができるかについて体験を通して学んでいくことができる。」を研究テーマに「コーヒーフェアトレード」、こども学習支援として「コトバショ」を展開してきました。引き続き継続してまいります。

同じくⅡの中に、「◆地域産業を担う人材の育成・企業・大学等と連携した高校の学び充実」があります。企業との連携は、総合的な探究の時間「コーポレートアクセス」において実施しているところではありますが、大学との連携が不十分だと認識しています。そので、新たに文教大学との連携を進めていきたいと思います。学校の授業では扱っていない専門科目を中心にガイダンスや授業体験等を考えております。ご承認いただきたいと思います。(司会) 質問・意見等がありますか。

(各委員から)

- ・大学との連携はいいことだと思う。
- ・文理それぞれに特性に合った連携が必要だと思うが、文教大学との連携は文系中心の計画に見える。理系への対応、配慮をお願いする。
- ・他の高校生徒の交流ができれば、より良い刺激を受けると思う。
- ・高大連携は是非進めてほしい。
- ・普段はオンライン、長期休業中には対面で進めていくことになる。

(司会) 承認いただけますか。

(委員) 出席者全員一致で承認。

(3) 意見交換

(委員から)

- ・人とつながる経験やスキルを教えていかないといけない。家庭や地域にそれを育てる力がなくなっている。
- ・「コトバショ」実施においては、子どもたちとのかかわり方を事前に指導しておかないとトラブルを招きかねない。
- ・リモートを含めて、学校における学びの形態は変化しているのか。

(校長から) 個人差はあるが、ICT活用は進んでいる。

- ・グランドデザインには新しい考え方が入っているので、それに基づいて進めてほしい。
- ・教科「情報」への対応はどうしていくのか。

(校長から) 現時点では対応できていない。今後の課題であるが、情報収集はしっかりやりたい。

- ・グランドデザインと研修構造図がうまくつながっている。
- ・学校祭におけるクラスTシャツは個性が発揮されていてよい。
- ・研修構想図に安心・安全に加えて「快適」が入っているのがよい。快適な環境の中で子どもたちには能力を発揮してほしい。

6 今年度の日程について (副校長から)

第2回は授業公開日である10月29日(土)10:00~12:00に実施したい。

第3回は2月、第4回を3月に開催予定。